

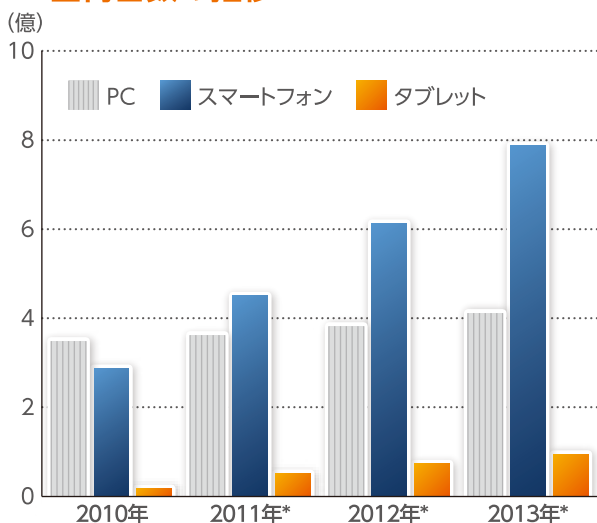
よみてく
読テク

No.11

世界に浸透するタブレット端末

タブレット端末(タブレットPC)とは、板状あるいは平板な形状でタッチパネルを掲載したモバイルPCのことです。ここ数年で世界的な広がりを見せています。

■ **世界のPCおよびスマートデバイス
出荷台数の推移**



出所:ゴールドマン・サックス証券(2011年11月) *2011年以降は予測

■ **遠隔操作で点灯**



タブレット端末とは

- 代表的なのがアップル社の「iPad」やサムスン電子の「GALAXY Tab」です。シャープやソニーなどの国内メーカーも販売に参入しています。
- 最近では、アマゾン社がタブレット端末「kindle fire」をアメリカで発売、低価格ということもあり話題を呼んでいます。

さらなる市場の拡大が予測

- ゴールドマン・サックス証券の調査によると、2010年の世界のタブレット端末出荷台数は約1776万台でした。2011年は前年比約188%増の約5122万台を見込んでいます。
- 近年、従来型PCの出荷台数が伸び悩む傾向にある一方で、タブレット端末の出荷台数は成長著しく、新たなマーケットとして大きな注目を集めています。

さらに詳しく

ローマ法王もタブレット端末を使用

2011年12月7日、ローマ法王のベネディクト16世はタブレット端末を使用して、バチカン宮殿の自宅から200km離れた地に設置された世界最大のクリスマスツリーを遠隔操作で点灯させました。すでに同年6月には、ローマ法王がタブレット端末を使ってツイッターでつぶやきを投稿する動画を公開しており、バチカンにもタブレット端末普及の波が押し寄せています。また85歳の英国エリザベス女王も、孫のウィリアム、ヘンリー両王子からタブレット端末を紹介されて関心を示し、自分用に1台購入するよう指示したという報道がありました。



**Asset
Management**

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。本資料の一部または全部を、(I) 複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、(II) 弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。<審査番号:64947.OTHER.MED.OTU >
© Copyright 2011 Goldman Sachs. All rights reserved. ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社